

(1) 包丁、刃先の種類と研磨方法

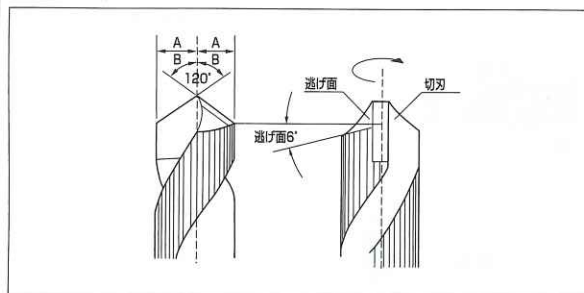
種類	菜切包丁	牛刃	刺身包丁	出刃包丁
刃の種類				
	両刃	両刃	片刃	片刃
研磨方法	刃の角度に合わせて、両面同じように研ぎます。		①刃先に角度のついている面を角度に合わせて研ぎます。 ②裏面のカエリは、回転を止めてダイヤモンドホイールの面に平らに当てて軽くこすって下さい。	

(2) カンナ刃、ノミ (片刃) の研磨方法

- ①角度のついている面の刃を角度に合わせて研ぎます。
- ②裏面のカエリは、回転を止めてダイヤモンドホイールの面に平らに当てて軽くこすって下さい。

(3) ドリルビットの研磨方法

- ①ドリルビットは中心線に対して対称になるように研ぎます。
- ②切刃から逃げ面に、逃げ面から切刃へと交互に研ぎ、逃げ角を6度程つけて下さい。



(4) チップソーの研磨方法

- ①刃先 (チップ) の先端部分のみを軽く研ぎます。
- ②それぞれのチップの研磨角度に合わせて研いで下さい。

ポイント



ダイヤモンドホイールは、付属のリングを使用すると、ディスクグラインダーでも使用できます。

ダイヤモンドホイールの交換

⚠ 警告

万一の事故を防止するために、必ずスイッチを切り、差込プラグを電源から抜いておいて下さい。

⚠ 注意

- ①付属のスパナを用い、ホイール押さえを右回転方向 (逆ネジ) に回してホイール押さえを取り外します。
- ②ダイヤモンドホイールを取り外し、新しい物と交換します。
- ③スパナを用いてホイールを押えを左回転方向に回して、ダイヤモンドホイールをしっかりと固定して下さい。
- ④ダイヤモンドホイールを取付けたら、ガタや緩みのないことを確認し、必ず試運転を行い異常のないことを確認して下さい。

保守と点検

⚠ 警告

点検、手入れの際は必ずスイッチを切り、差込プラグを電源から抜いて下さい。

(1) 各部取付けネジの点検について

- 各部取付けネジがゆるんでいるところがないか定期的に点検して下さい。
- もし、ゆるんでいるところがあれば締め直して下さい。

(2) ダイヤモンドホイールは定期的にブラッシングして下さい。

- 作業後はダイヤモンドホイールの目詰まりを防ぐため、ブラシ等で研磨粉を取除いて下さい。

(3) 作業後の手入れについて

- 本体は乾いた布や石けん水をつけた布などで拭き、汚れを落して下さい。

(4) 本体や付属品の保管について

- 本体や付属品は、高温にならない乾燥した場所に保管して下さい。
- また、小さいお子様の手の届くところや落下の恐れのあるところには保管しないで下さい。

別売アトマ (ダイヤモンド) ホイールについて

細目 (砥粒 #600)

極細目 (砥粒 #1,200)

全国の主要ホームセンター、金物店でお買い求め下さい。

本機は中目 (砥粒 #400) アトマホイールを付属いたしております。

Distributed by Sankyo Corp., Osaka, Japan  
Assembled in Taiwan with foreign components.

輸入発売元



株式会社  
三共コーポレーション

本社物流センター 〒639-2127 奈良県葛城市新町 258 番地 1  
品質管理室 TEL (0745) 62-1221 番 (代) FAX (0745) 62-1777

本社 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 4 丁目 6 番 6 号  
TEL (06) 6252-1712 番 (代) FAX (06) 6251-4693

三木営業所 〒673-0402 兵庫県三木市加佐 234 番地 1  
TEL (0794) 83-1661 番 (代) FAX (0794) 83-1665

東京営業所 〒121-0824 東京都足立区西伊興 4 丁目 10 番 24 号  
TEL (03) 3857-0211 番 (代) FAX (03) 3857-0215

福岡営業所 〒812-0068 福岡県福岡市東区社領 2 丁目 9 番 22 号  
TEL (092) 622-4961 番 (代) FAX (092) 622-4965

HARD HEAD  
POWER TOOLS

ダイヤモンド刃物研ぎ機 HDG-100  
取扱説明書

この度はHARD HEADダイヤモンド刃物研ぎ機HDG-100をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解のうえで、適切な取扱いと保守をして頂きますようお願い致します。なお、本書は大切に保管して下さい。



乾式用ダイヤモンドホイール装着

ご使用に際しては、水を使わないで下さい。

⚠ 警告

- 本機は乾式専用機です。注水は絶対にしないでください。
- ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
- 感電の恐れがあります。雨中でのご使用は絶対にしないでください。

仕様

- 電源: 家庭用 100V 単相交流 (50Hz/60Hz)
- 消費電力: 73W/63W (50Hz/60Hz)
- 電流: 0.84A/0.69A (50Hz/60Hz)
- 回転数: 1,450/1,720回転/分 (50Hz/60Hz)
- 定格使用時間: 20分
- ダイヤモンドホイール寸法: 外径100mm/穴径20mm/中目 (#400)  
※別売パーツとして細目 (#600)、極細目 (#1,200) も用意しております。
- 本体サイズ: 幅172mm×奥行178mm×高さ125mm
- 電源コードの長さ: 1.8m
- 本体重量: 約1.85kg

※本製品は、改良のため予告なく仕様、外観などを変更することがあります。

## 安全上のご注意

- ご使用前に、この〈安全上のご注意〉すべてをよくお読みの上、使用説明に従って正しく使用して下さい。
  - ここに示した注意事項は、「△警告」、「△注意」に区分していますが、誤った取扱いをしたときに使用者が死亡または重傷を負う可能性がある内容を「△警告」、使用者が傷害を負う可能性がある内容及び物的損害のみの発生がある内容を「△注意」として記載しています。
- 尚、「△注意」とした事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、参照できるようにして下さい。

## △警告

- (1) 指定用途以外には使わないで下さい。
  - 本取扱説明書に指定された用途以外にはお使いにならないで下さい。
- (2) 感電に注意して下さい。
  - 濡れた手で電源プラグに触れないで下さい。感電の恐れがあります。
  - 電動工具を使用中、身体をアース（接地）されているものに接触させないようにして下さい。  
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠)
- (3) 作業場の周囲状況も考慮して下さい。
  - 電動工具は雨中で使用したり、湿った、または、濡れた場所で使用しないで下さい。感電や発煙の恐れがあります。
  - 作業場は十分に明るくして下さい。
  - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
- (4) 保護メガネを使用して下さい。
  - 作業時は、保護メガネを使用して下さい。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用して下さい。
- (5) 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いて下さい。
  - 使用しない時。
  - 刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
  - その他危険が予想される場合。
- (6) 不意な始動は避けて下さい。
  - スイッチに指を掛けて運ばないで下さい。

## △注意

- (1) 作業場はいつもきれいに保って下さい。
  - ちらかった場所や作業台は事故の原因となります。
- (2) 子供を近づけないで下さい。
  - 作業以外、電動工具やコードに触れさせないで下さい。
  - 作業以外、作業場へ近づけないで下さい。
- (3) 使用しない場合はきちんと保管して下さい。
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管して下さい。

- (4) 無理して使用しないで下さい。
  - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業して下さい。
- (5) 作業に合った電動工具を使用して下さい。
  - 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないで下さい。
  - 指定された用途以外に使用しないで下さい。
- (6) きちんとした服装で作業して下さい。
  - だぶだぶの衣服やネクレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないで下さい。
  - 長い髪は帽子やヘアカバーなどで覆って下さい。
- (7) コードを乱暴に扱わないで下さい。
  - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないで下さい。
  - コードを熱、油、角のつがった所に近づけないで下さい。
- (8) 無理な姿勢で作業をしないで下さい。
  - 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにして下さい。
- (9) 電動工具は注意深く手入れをして下さい。
  - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保って下さい。
  - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従って下さい。
  - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。
  - 継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換して下さい。
- (10) 調節キーやスパナ等は、必ず取りはずして下さい。
  - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナ等の工具類が取りはずしてあることを確認して下さい。
- (11) 屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用して下さい。
  - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ（延長）コードを使用して下さい。
- (12) 油断しないで十分注意して作業を行って下さい。
  - 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業して下さい。
- (13) 損傷した部分がないか点検して下さい。
  - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認して下さい。
  - 可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認して下さい。
  - スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は、使用しないで下さい。

### ※騒音について

- ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどして下さい。

## 刃物研ぎ機 安全上のご注意

- 先に電動工具の共通の注意事項を申し述べましたが、ダイヤモンド刃物研ぎ機をご使用の際は、さらに下記の事項についてご注意ください願います。

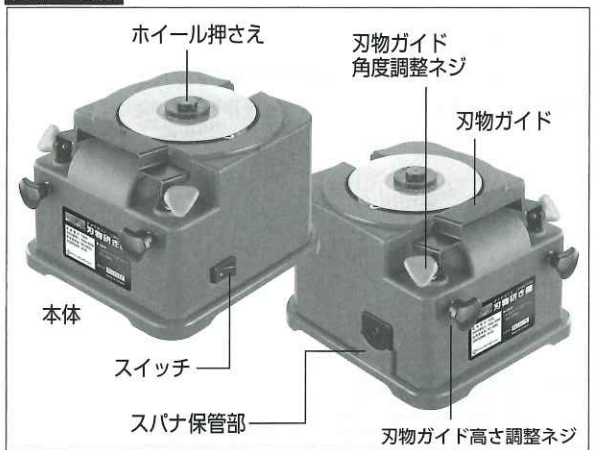
## △警告

- (1) 使用電源は、銘板に表示してある電圧（100V）でご使用下さい。
- (2) ダイヤモンドホイールにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用して下さい。
  - 異常があると、ダイヤモンドホイールが破損し、ケガの原因となります。
- (3) 使用中は回転部に手や顔などを近づけないで下さい。
  - ケガの原因となります。
- (4) 異常時は直ちにスイッチを切って下さい。
  - 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上の販売店に点検・修理を依頼して下さい。

## △注意

- (1) 付属品は取扱説明書に従って、確実に取付けて下さい。
  - 確実にしないとずれたりし、ケガの原因となります。
- (2) 使用中は軍手など、巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないで下さい。
  - 回転部に巻き込まれ、ケガの恐れがあります。
- (3) 作業直後のホイールや研磨物は、高温になっていますのでご注意ください。
  - ヤケドの原因となります。
- (4) 高所作業の時は、下に人がいないことをよく確かめて下さい。
  - 本体などを落した時、事故の原因となります。

## 各部の名称



## ご使用前に

- ダイヤモンド刃物研ぎ機をご使用になる前に、次の事柄を確認して下さい。
  - (1) ~ (4) については、差込みプラグを電源に差込む前に確認

して下さい。

- (1) 使用電源を確かめて下さい。
  - 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧（100V）をご使用下さい。
- (2) スイッチがOFFになっていることを確認して下さい。
  - スイッチがONになっているのを知らずに差込みプラグを電源に差込むと、不意に起動し思わぬ事故のもとになります。
- (3) ダイヤモンドホイールの締付けを確認して下さい。
  - ホイール押さえでダイヤモンドホイールが確実に締付けられているか確認して下さい。
- (4) 刃物ガイドとホイールのスキマを確認して下さい。
  - 刃物ガイドとホイールの適正なスキマは、1~3mmです。作業中、刃物ガイドがダイヤモンドホイールに接触しないように注意して下さい。
- (5) 電源コンセントを確認して下さい。
  - 差込みプラグを差込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談下さい。  
そのままお使いになられますと、過熱して事故の原因となります。

## 研磨方法

### △注意

- 刃物の刃のつけ方により、研ぎ方法が異なりますので、研ぐ前に確認して下さい。



- 研磨の際、刃物をダイヤモンドホイールに強く押し付けしないで下さい。砥粒が脱落する原因となります。
- 特殊な刃物を研ぐときは、刃物専門店にご相談下さい。

### ■刃物ガイドの使い方

- 刃物の形状により刃物ガイドの高さが調整できます。  
刃物ガイド高さ調整ネジを緩め、ご使用になる高さに調整したら、しっかりと締めてください。
- 刃物ガイドは、刃が直線で刃の厚み角度が一定の場合に使用します。  
両手で刃物をしっかり持ち、刃物ガイドに押し当てながら刃面を軽くダイヤモンドホイールに当て刃を研ぎます。

### △注意

- 刃物ガイドの角度調整ネジおよび高さ調整ネジはしっかりと締めてください。緩んでいると刃物ガイドが動きケガの原因となります。

